

# 遊燭惱林

## 秋のお彼岸

### 法要

左記のとおり秋季彼岸会法要をお勤めいたします。皆様お誘いあわせの上賑々しく御参詣下さい

九月二十六日（木）

午後一時より

衆僧総供養読経

法話

おとき（婦人会の皆様の手作りのお食事です）

三月二十日から二十六日までお彼岸です。この間お寺もしくはご自宅での読経供養を致します。ご希望の方はご予約ください。

尚二十一日（土）、二十二日（日）二十三日（月）の3日間は、お寺にお参りの方に限り、ご参詣になった順にお勤め致しますので予約は不要です。その他の日は住職、副住職共に外に出ていることが多いので必ず時間の予約をお願いいたします。

\*お寺にご遺骨をお預けの方は期間中必ずお参り下さい

## 彼岸（浄土）への言葉

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちちは同じです。

みんなの「大切」を守りたい。

「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。

自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

—2019.08.06 原爆の日 「平和への誓い」より—

今年の広島市の平和記念式典の「平和への誓い」の一節です。小学6年生の二人によって読み上げられました。

この言葉を聞いて、申し訳ない、というよりも、本当に恥ずかしいという思いにさせられました。

私は、彼ら彼女らに、胸を張って「平和」を語れるのでしょうか。他者の国や文化や歴史を否定し、また、そのカテゴリ（国・町・村という地域、文化という意識、男・女・LGBTQといった性、何々家、だれその家族の）にいるというだけでその人物の全てを否定したり、その人のすべてを分かったきになり、誹謗中傷し、敵とみなして攻撃している私であることをまずは思い知

らねばならないのです。

坂東性純という先生がお浄土を次のように教えてくださっています。

間違っている思いを抱いていた人が真実の言葉に接し「ああ、私は間違っていた。長い間、考え違いをしていた。これがほんとうなのか」と言って目覚めが起こったとしますと、その目覚めが起こった時・場所が浄土なのです。

私は、それではお浄土に、その時に在れたのでしょうか。恥ずかしい、という言葉で今の自分の在り方を肯定しているのではないかと、ごまかしているのではないかと・・・わかりません。

ただ、私が「差別なく生きている、認めている、助けようとしている」と思っていたことは欺瞞でしかなかったことに気づかせてくれました。だからこそ響いてきたのです。

今年の「平和への誓い」は私にとって仏さまの言葉（真実の言葉）であったことは間違いないと思います。

あなたにとっての「真実の言葉」（仏さまの言葉）は？よろしかったら、機会があったら聞かせてください。



2年ほど前になるが私と同年のHさんが亡くなった。彼は両親を早くに亡くし当時高校生だった妹と二人で頑張っていた。その頃のHさんとはお母さんの法事の時に顔を合わせるぐらいの縁しかなかった。妹は心の病を抱えリストカットを繰り返して生きることに苦しんでいた。その妹はお寺に相談に来ることも多く、また始めたばかりの「聞法会」にもよく参加してくれていた。「聞法会」では、人生経験不足の私より経験豊かな女性参加者が親身にお話を聞いて下さり、彼女の心も上向きになったがその後癌を患い若くして亡くなった。妹が無くなってしばらく音信不通だったHさんが突然訪ねてこられたのが2年半前。ぱっと見スッキリした感じになっていたので元気にやってるのかと思ったが、とんだ見立て違いで彼は胃癌で余命宣告を受けていた。独身だった彼は自分が死んだあと母親と妹の遺骨をお寺に預けっぱなしになっていることを心配して訪ねてきたという。

「今日は体調が良かったので思い切って来てよかった」  
ひと通り話をし、事後は心配いらぬ事が解ると彼はホッと笑顔を見せた。

「あのさ、言いくいけれどいよいよだめだと思ったら必ず私に電話して、会いに行くから」そんな迷惑かもしれない申し出をした。それから半年、彼を看ていてくれるヘルパーさ

んから電話があった

「お医者さんの判断では後、数日だそうです。Hさんがご住職にお会いしたいと言ってますが来て頂けますか」勿論とんで行った。ベッドのHさんはやせ細り辛そうだったが私が手を握ると泣きながら笑顔を見せた。

「昨日ね、妹が来てくれたんです。そこに立って元気な笑顔をを見せてくれたんです。よかった」

泣きながら彼は言う。苦労の中に早逝した妹の事をずっと心配してたのだろう。

「そうか。もう安心だよ。あなたも安心していいよ。妹さんとお母さんとこれからはずっと一緒だから。よく頑張ったね。」

それから2日ほどして静かに彼はお浄土に還った。私の訪問を喜んで、安心したようだと言っていた。大昔は僧侶が

世間は僧侶の出番は死んだ後だと思っている。大昔は僧侶がご臨終に立ち会う機会は多くあったが今では全くない。

でも、Hさんのお蔭で実はこれが大事なのではと実感した。娑婆のご縁尽きる時、もう頑張らなくて良いと、懐かしい人が待っていてくれるお浄土に往けることを伝え安心して臨終を迎えられるお手伝い。私にとっても有り難いお勤めです。若いころには重すぎてできなかつたが、もう、ジジイだし。



唐突だが焼き肉が好きだ。今はもう無いが家の近所に朝鮮の人がやっている焼肉屋さんがあった。すごく美味しかった。韓国に行ったときにチマチヨゴリがとても可愛く娘のお土産にした。さすがに韓流ドラマは見たことないが一大ブームだった。今でも娘は洋楽と同じようにKポップを聞きちよくちよく新大久保の朝鮮街に友達と行っている。多くの若者に偏見は無い。

にも拘らずジジイ、ババア共はなにをしてるんだ。アジアの国々が反日になるにはそれなりの理由がある。

この国の国民は戦後加害者である事実を記憶から締め出し何の反省もなく一律戦争被害者になった。戦時中アジアの国々を侵略し植民地としそこで何をしてきたか顧みること拒絶した。国家はあの戦争がなんであつたか検証することなく、教育もジャーナリズムも史実を伝えることをしなかつた。「日本人は何も知らない」これが反日の元凶だ。愛知トリナンエーレの展示に「国民の気分を害す展示を取りやめるべき」とほざいた市長がいるがそれ以前に何故そういった像が作られたか考えるべきだろう。オリンピックを前にニッポン！日本！浮かれ騒ぐ前に日本人なら日本人が何をしてきたか知る必要がある。

住職からのお願

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬

住職

儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。その為ご法事の時間のお約束を頂いても変更をお願いすることがあります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうか寛恕下さいますようお願い致します

定例行事 いずれもご自由にご参加下さい

開法会 毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）

歎異抄を読み聞く会「微妙音」 毎月5日午後2時

十一月はお休みします

9月14日(水)午後2時からです。

白色白光の会(婦人会) 毎月第2木曜午後1時  
お経(正信偈)の練習と法話と茶話会

「照久会」浄土真宗初めて講座 二月、四月、六月、十月、十二月の第2土曜午後2時より5時まで(参加費 2千円、照久会会員は千円) 講師 聞成寺住職 佐竹貫裕師

仏像なぞり書き「仏像描くぞう」

第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から

参加費三百円(初回のみ別途テキスト代千円)